



うま年の今年は六年に一度の当山ご本尊千手観音さまご開帳の年です。本年の夏、八月十日(月)にご開帳の諸行事を行います。延宝七年京都の仏師鶴屋四郎が彫った千手観音像を間近に親しくお参りできる機会です。そのお像の腹中に村上家伝来の秘仏の一寸八分黄金の観音像が納められています。近くなりましたらまだご案内いたしますのでご参詣ください。

当山に樹木葬スタイルの墓地が完成しました。長岡駅に一番近い樹木葬。当山墓所の入口の両側、陽光ふりそそぐとても明るい場所に建っています。お墓をお参りして顔をあげると観音堂が目に入つてくる…そんな心安らぐ墓所です。

総みかげ石製の石室で一区画につきおよそ四人分のお骨を納めることができますのでご夫婦・ご家族の納骨に適しています(大区画は六名)。厚みのある蓋石プレートにはお好みのデザインにて墓碑名

を彫るこ  
とができるま  
す。生前予約  
ができますし、  
後継者がいなく  
ても大丈夫。お骨  
はお寺が永代にわ  
たつて責任をもつて  
管理し供養していく  
ます。今までの宗旨・  
宗派は問いません。購  
入後の追加費用もありません。先祖代々の墓じまい

今年の八月十日(月)  
ご本尊千手観世音菩薩  
午年ご開帳

## 樹木葬「日輪」「月輪」完成! 申込受付開始

- 標準区画 六十万円(二名分)
- お一人増える毎に二十万円
- プレート彫刻費 五万円



長岡 千手観音

# 千蔵院だより



## 千蔵院だより 第18号

発行日 令和8年1月1日  
発行人 千手観音 千蔵院 住職 諸橋精光  
長岡市柏町1-5-12 ☎0258-33-1962  
ホームページ <http://senzouin.jp>  
Eメール [senzouin@nct9.ne.jp](mailto:senzouin@nct9.ne.jp)

に最適ですのでどうぞ何なりとご相談ください。

越後三十三観音霊場の十五番札所にして、江戸時代は長岡藩の祈願所、長岡の人々の信仰の中心だった「千手のかんのんさま」。朝に夕に老若男女のお参りが絶えず、年中お経の声や太鼓の音がひびく賑やかな雰囲気の境内に建てられたお墓です。関心のある方、お墓をお探しの方はどうぞお問い合わせください。申し込みの資料などをお送りいたします。なお、



一月、二月はご  
祈祷などで多忙  
なため、まず  
はお電話にてお問い合わせ  
わせください。

# ご開帳奉祝大塔婆建立 ご奉賛のお願い

一口 三万円

ペツト合葬墓

## 「どうぶつ供養ふたら」 完成!



当山では六年に一度のご開帳に参道の大塔婆を新調しておりますが、この度のご開帳より、ご本尊さまへの最大の供養である大塔婆をご信心の皆さまとともに建立し奉納したいと発願いたしました。この趣旨に賛同くださり、ご奉賛くださいる方のご芳名を左図のよう開帳まで大塔婆とともにあります。お名前は次回令和十四年の子年になります。大塔婆はご開帳の一ヶ月前に揮毫しますので、今年の六月中旬までにお願いできれば幸いです。なにとぞご協力のほどよろしくお願ひ申しあげます。

当山では六年に一度のご開帳に参道の大塔婆を新調しておりますが、この度のご開帳より、ご本尊さまへの最大の供養である大塔婆をご信心の皆さまとともに建立し奉納したいと発願いたしました。この趣旨に賛同くださり、ご奉賛くださいる方のご芳名を左図のよう開帳まで大塔婆とともにあります。お名前は次回令和十四年の子年になります。大塔婆はご開帳の一ヶ月前に揮毫しますので、今年の六月中旬までにお願いできれば幸いです。なにとぞご協力のほどよろしくお願ひ申しあげます。

当山樹木葬の一画にペツト合葬墓「ふたら」が誕生しました。大切な家族であるペツトがやさしい観音さまのお淨土で安らかに眠れるよう、そのお淨土の名前「補陀落」から「ふたら」と名付けました。納骨の志納金はペツト一体につき二万円、墓誌のプレートにペツトのお名前を残すこともできます。プレートの彫刻費は一万円です。中心となるピンクの石には犬・猫・鳥が集まるどうぶつ供養のご本尊「馬頭観音」さまが描かれています。ペツトのお骨を納める場所をお探しの方はどうぞお問い合わせください。

当山樹木葬の一画にペツト合葬墓「ふたら」が誕生しました。大切な家族であるペツトがやさしい観音さまのお淨土で安らかに眠れるよう、そのお淨土の名前「補陀落」から「ふたら」と名付けました。納骨の志納金はペツト一体につき二万円、墓誌のプレートにペツトのお名前を残すこともできます。プレートの彫刻費は一万円です。中心となるピンクの石には犬・猫・鳥が集まるどうぶつ供養のご本尊「馬頭観音」さまが描かれています。ペツトのお骨を納める場所をお探しの方はどうぞお問い合わせください。

## 牡丹を移動 参道脇に牡丹園



当山樹木葬の建立にともない今まで墓地入口の花壇にあった牡丹は本堂参道脇にまとめて移植され牡丹園となりました。今年からは境内でお参りのついでに牡丹の花をめでることができると思います。お楽しみに。

あなたも豆まきしませんか

令和八年二月三日節分

## 豆まき年男年女募集!

節分の夕方六時半に行われる当山の豆まき式、近年は七〇〇人の群衆が集まり大変盛大です。豆をまく年男年女の方々は「この大

群衆に向かって豆をまく気分は最高です」といわれます。

豆まきには、今年の干支に当た

つているいわゆる年男年女でなくとも、新年の開運を願う人ならどなたでも参加できます。現在参加募集中で、〆切は一月二十一日。参

加奉納金は二万二千円です。袴を着て豆をまく前に受ける星供大護摩のご祈祷はまるでライブのよう

だと皆さん感動されます。鬼たち

のお加持もあり盛り沢山です。どうぞご参加ください。お問い合わせはお寺まで!

